

平成28年度
県民のスポーツライフにかかわる
スポーツ実施状況調査

報 告 書

平成28年10月

滋 賀 県

目 次

I. 調査実施概要	1
1. 調査の概要	1
2. 標本構成	2
3. 報告書の見方	4
4. 回答者の属性	6
II. 調査結果	8
1. 昨年(2015年)の市民(町民)運動会(体育祭、スポーツ祭)の参加状況	8
2. 健康・体力に関する意識	12
3. 運動・スポーツの実施状況	24
4. 運動・スポーツの推進に関する考え	66
5. スポーツ施策の認知状況	79
6. 今後の運動・スポーツの実施意向および要望	84
参考資料	96
1. 調査票	96
2. 単純集計表	102
3. 自由記述(問23)	114

I. 調査実施概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的

県民のスポーツ実施状況に関する意識と実態を把握し、今後のスポーツ推進に向けた施策に資する基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査期間

平成28年8月12日（金）～平成28年8月31日（水）

(3) 調査設計

表 1 調査設計

調査地域	滋賀県内全域
調査対象	県内在住の満20歳以上の男女
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿
抽出方法	層化二段無作為抽出法（県内7地域別）
調査票	日本語

(4) 調査方法

郵送法（督促1回）、無記名方式

(5) 調査機関

株式会社 地域未来研究所

(6) 調査項目

- 昨年(2015年)の市民(町民)運動会(体育祭、スポーツ祭)の参加状況
- 健康・体力に関する意識
- 運動・スポーツの実施状況
- 運動・スポーツの推進に関する考え
- スポーツ施策の認知状況
- 今後の運動・スポーツの実施意向および要望

2. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を7地域に分類した。

表 2 地域区分

大津	大津市
湖南	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀	甲賀市、湖南市
東近江	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北	長浜市、米原市
湖西	高島市

(2) 標本数の配分

各地域規模の層における20歳以上の人口を基に、ウェイト補正（「(4) 調査結果の集計表示方法」, p. 3 参照）を行って3,000人の標本数を比例配分した。

表 3 地域ごとの標本数

	母集団 (人)	標本数 (人)	地点数 (地点)
大津	272,699	705	47
湖南	254,968	659	45
甲賀	115,025	298	21
東近江	183,391	473	34
湖東	122,673	317	24
湖北	127,200	329	23
湖西	42,294	219	15
合計	1,118,250	3,000	209

注1) 抽出地点は、平成27年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 母集団は、「住民基本台帳年報（平成28年1月1日）」に基づく。

(3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,493件、有効回収率は全体で49.8%となった。

表 4 地域ごとの有効回収数

	標本数 (人)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
大津	705	367	52.1
湖南	659	321	48.7
甲賀	298	152	51.0
東近江	473	236	49.9
湖東	317	151	47.6
湖北	329	147	44.7
湖西	219	100	45.7
不明・無回答		19	—
合計	3,000	1,493	49.8

(4) 調査結果の集計表示方法

各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下の通りの標本数と抽出ウェイトとしている。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

表 5 地域ごとのウェイト補正值と規正標本数

	抽出 ウェイト	標本数 (人)	有効回収数 (件)	集計 ウェイト	規正標本数 (件)
大津	1 / 2	705	367	2	734
湖南	1 / 2	659	321	2	642
甲賀	1 / 2	298	152	2	304
東近江	1 / 2	473	236	2	472
湖東	1 / 2	317	151	2	302
湖北	1 / 2	329	147	2	294
湖西	1	219	100	1	100
不明・無回答			19	—	19
合計	—	3,000	1,493	—	2,867

3. 報告書の見方

(1) 標本誤差

○本調査は、調査対象となる母集団（滋賀県在住の20歳以上の男女）から一部を抽出した標本（サンプル）の回答比率等から母集団の回答比率等を推測する、いわゆる「標本調査」である。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

○標本誤差は、次式で統計学的に得られる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}}$$

N = 1, 118, 250
 [母集団=滋賀県の20歳以上人口]
 n = 2, 867 [規正標本数]
 P = 回答の比率 (%)

○今回調査の標本誤差は、以下のとおり。

表 6 今回調査の標本誤差

回答の比率	90%	80%	70%	60%	50%
	10%	20%	30%	40%	
誤差	±1.10	±1.46	±1.68	±1.79	±1.83

(この表の計算式の信頼度は95%である)

※表 6 の見方: ある設問で、全体の回答が『50%』であった場合、50%を中心に±1.83、つまり、真の値は『48.17%～51.83%』の間にあると推定してよいが、その推定が正しい確率は95%である。

(2) 報告書記載事項について

○比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。

○百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を集約した場合（「大いに健康」と「まあまあ健康」を合計した『健康である』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。

○図表中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。また、図表中の「n」は当該選択肢の規正回答者数を示す。

○回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。

- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- 図表中の「不明・無回答」は、回答の判別が著しく困難であったもの、あるいは回答が示されていないものである。
- 性別、年齢別、職業別、居住地域別のクロス集計については、「不明・無回答」を除いて示しているため、それぞれの「n」の合計が「N」とは一致しない場合がある。また、設問間のクロス集計については、「不明・無回答」及び「わからない」を除いて示している。

4. 回答者の属性

(1) 性別

○性別は、「女」が53.4%、「男」が44.9%となっている。

○滋賀県の実態構成（住民基本台帳年報：平成28年1月1日）と比べると、本調査の回答者は女性の割合がやや高い。

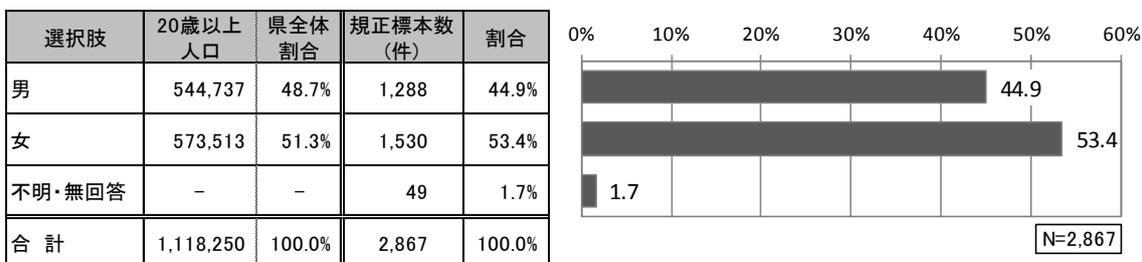


図 1 回答者の性別

(2) 年代

○年代は、「60歳代」が25.0%で最も高く、以下、「70歳以上」が21.7%、「50歳代」が17.4%と続いている。

○滋賀県の実態構成と比べると、本調査の回答者は50～60歳代の割合が高く、20～40歳代の割合が低い結果となっており、回答者の年齢構成と実際の年齢構成に差異があることに留意する必要がある。

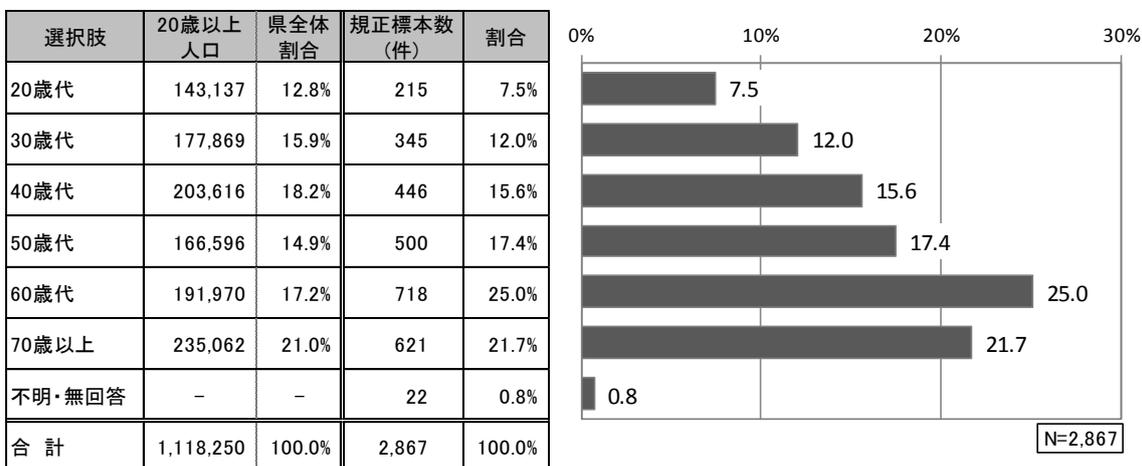


図 2 回答者の年代

(3) 職業

○職業は、有職が53.8%、無職が41.7%となっている。

○有職では「会社員」が27.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が14.0%、無職では「無職」が20.6%で最も高く、次いで「主婦・夫」が19.5%となっている。

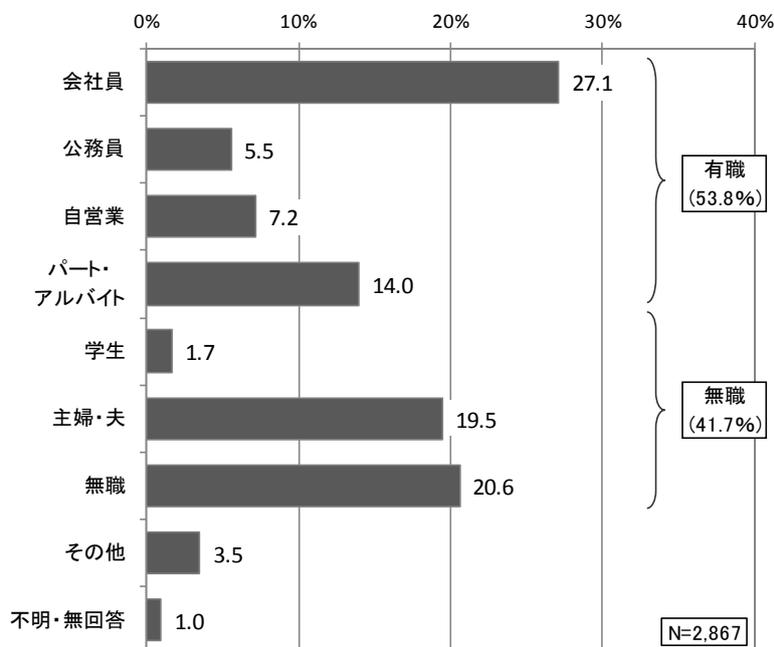


図 3 回答者の職業

(4) 居住地域

○居住地域は「大津地域」が25.6%で最も高く、以下、「湖南地域」が22.4%、「東近江地域」が16.5%と続いている。滋賀県の実態構成をほぼ反映している。

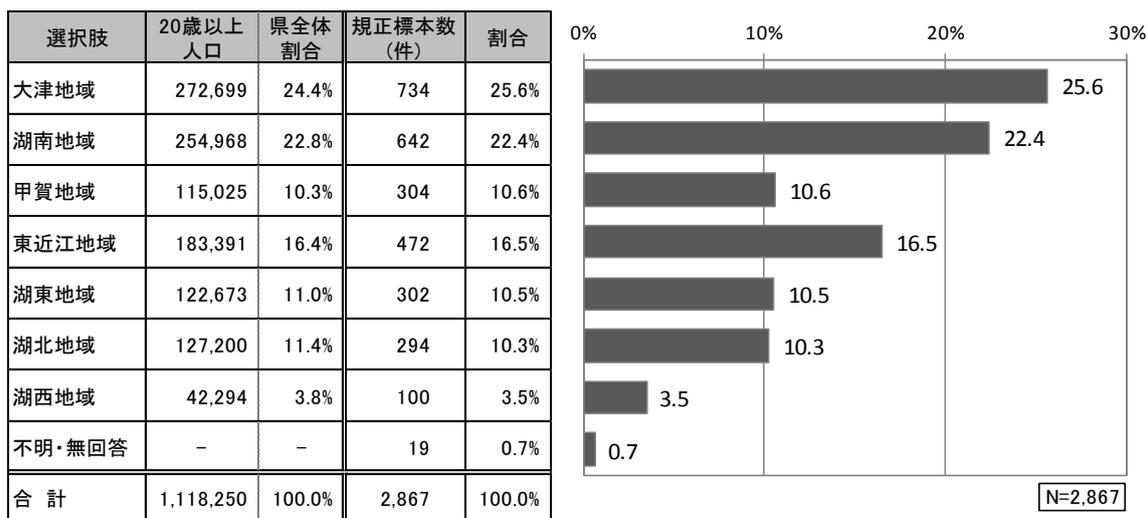


図 4 回答者の居住地域